

事業コード	H16-農-継-11		区分	国庫補助・県単独
事業名	地域水産物供給基盤整備事業(特定)		部局名	農林水産部
事業種別	水産基盤整備事業【漁港漁場整備】		課室班名	水産漁港課 漁港漁村整備班 (tel)1891
路線名等	岩館漁港		担当課長名	遠藤 実
箇所名	八森町岩館		担当者名	主幹兼班長 小玉 易五郎
総合計画との関連	政策コード	N	政策名	豊かな自然と調和した個性あふれる農林水産業の振興
	施策コード	7	施策名	資源を守り生かす漁業の推進
	目標コード	2	施策目標名	漁業生産基盤の計画的整備

1. 事業の概要

事業期間	H14~H23(10年)	総事業費	46億円	国庫補助率	50%																																																																					
事業規模	西防波堤(改良)165m、突堤(改良)40m、防波堤50m、護岸200m、泊地浚渫2000㎡、岸壁185m(改良)90m、船揚場45m、用地8100㎡、分港：沖防波堤230m、防波堤130m、護岸100m、泊地浚渫3700㎡、物揚場120m、船揚場60m、用地5830㎡、臨港道路800m、魚礁設置3430空m3、地先型増殖場1.3ha																																																																									
事業の立案に至る背景	本港は県最北端に位置し、古くから地先沿岸漁業の根拠地として利用されてきた。動力船の増大に伴い漁港の整備が必要となり、昭和16年に本港の整備を一応完成し、県北部の要港としての役割を果たしてきた。昭和36年に2種漁港の指定を受け、第4次から第9次整備計画(S44~H13)まで外郭、係留、水域、機能施設を整備してきた。平成13年度に「漁港法」が「漁港漁場整備法」に改正され、国では平成14年3月に「漁港漁場整備長期計画」(H14~H23)を策定している。本漁港においては、県北部の要港としてつくり育てる漁業の推進と自然環境の保全に考慮した新たな整備計画を策定し、漁港及び漁場の整備を推進している。																																																																									
事業目的	つくり育てる漁業の推進：アワビ増殖場及び魚礁漁場の整備、水産資源の管理の徹底 自然環境の保全と創造：防波堤基礎マウンドを活用し、藻類の生育に適した環境を創出 水産物の流通効率化：臨港道路の整備 安全で快適な漁業就労環境の形成：静穏度確保による出漁機会の増加、荷揚げ待ち時間の解消																																																																									
事業費内訳	<table border="1"> <tr> <td colspan="6" style="text-align: right;">(単位：千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全体</td> <td>H15年度迄</td> <td>H16年度</td> <td>H17年度</td> <td>H18年度以降</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>4,640,000</td> <td>970,000</td> <td>600,000</td> <td>630,000</td> <td>2,440,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経費内訳</td> <td>工事費</td> <td>4,469,500</td> <td>939,680</td> <td>580,830</td> <td>608,800</td> <td>2,340,190</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>170,500</td> <td>30,320</td> <td>19,170</td> <td>21,200</td> <td>99,810</td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>国庫補助</td> <td>2,320,000</td> <td>485,000</td> <td>300,000</td> <td>315,000</td> <td>1,220,000</td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>1,772,000</td> <td>392,000</td> <td>242,000</td> <td>253,000</td> <td>885,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>350,800</td> <td>49,440</td> <td>30,280</td> <td>33,150</td> <td>237,930</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業内容</td> <td>一般財源</td> <td>197,200</td> <td>43,560</td> <td>27,720</td> <td>28,850</td> <td>97,070</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td></td> <td>西防波堤・突堤・沖防波堤整備 外郭詳細設計</td> <td>沖防波堤整備 防波堤整備 係留詳細設計</td> <td>沖防波堤・防波堤整備、岸壁・ケーソ設計</td> <td>沖防波堤・防波堤、浚渫、岸壁・物揚・船揚場</td> </tr> </table>					(単位：千円)							全体	H15年度迄	H16年度	H17年度	H18年度以降	事業費	4,640,000	970,000	600,000	630,000	2,440,000	経費内訳	工事費	4,469,500	939,680	580,830	608,800	2,340,190	その他	170,500	30,320	19,170	21,200	99,810	財源内訳						財源内訳	国庫補助	2,320,000	485,000	300,000	315,000	1,220,000	県債	1,772,000	392,000	242,000	253,000	885,000	その他	350,800	49,440	30,280	33,150	237,930	事業内容	一般財源	197,200	43,560	27,720	28,850	97,070	事業内容		西防波堤・突堤・沖防波堤整備 外郭詳細設計	沖防波堤整備 防波堤整備 係留詳細設計	沖防波堤・防波堤整備、岸壁・ケーソ設計	沖防波堤・防波堤、浚渫、岸壁・物揚・船揚場
(単位：千円)																																																																										
	全体	H15年度迄	H16年度	H17年度	H18年度以降																																																																					
事業費	4,640,000	970,000	600,000	630,000	2,440,000																																																																					
経費内訳	工事費	4,469,500	939,680	580,830	608,800	2,340,190																																																																				
	その他	170,500	30,320	19,170	21,200	99,810																																																																				
	財源内訳																																																																									
財源内訳	国庫補助	2,320,000	485,000	300,000	315,000	1,220,000																																																																				
	県債	1,772,000	392,000	242,000	253,000	885,000																																																																				
	その他	350,800	49,440	30,280	33,150	237,930																																																																				
事業内容	一般財源	197,200	43,560	27,720	28,850	97,070																																																																				
	事業内容		西防波堤・突堤・沖防波堤整備 外郭詳細設計	沖防波堤整備 防波堤整備 係留詳細設計	沖防波堤・防波堤整備、岸壁・ケーソ設計	沖防波堤・防波堤、浚渫、岸壁・物揚・船揚場																																																																				
事業推進上の課題	特になし。																																																																									
上位計画での位置付け	総合計画における施策「資源を守り生かす漁業の推進」を支援する事業。漁港漁場整備長期計画(H14.3.26閣議決定)の実施目標「水産物供給体制の整備・漁場環境の保全創造・漁村の総合的な振興」に基づく事業。																																																																									
関連プロジェクト等	白神ネイチャー協会(H9.5月発足)																																																																									
事業を取り巻く情勢の変化	平成14年4月に県内9海面漁協が合併し「秋田県漁業協同組合」が発足しており、経営基盤の強化を図っている。																																																																									
事業効果把握の手法	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td>本漁港の漁獲量</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td>成果指標 業績指標</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td>漁獲量</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td>910 t</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td>813 t</td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td>89%</td> </tr> </table>		指標名	本漁港の漁獲量	指標の種類	成果指標 業績指標	指標式	漁獲量	目標値 a	910 t	実績値 b	813 t	達成率 b/a	89%	データ等の出典	H14年港勢調査																																																										
指標名	本漁港の漁獲量																																																																									
指標の種類	成果指標 業績指標																																																																									
指標式	漁獲量																																																																									
目標値 a	910 t																																																																									
実績値 b	813 t																																																																									
達成率 b/a	89%																																																																									
			把握の時期	H16年3月																																																																						

前回評価結果等	選定または継続      改善      見直し      保留または中止・終了
	指摘事項
	指摘事項への対応

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評価点
必 要 性	漁港の種類及び事業内容から、漁港漁場整備法に規定する「特定漁港漁場整備事業（法律補助）」の他に事業採択要件を満たす国庫補助事業はない。 事業計画策定に当たり、地元漁業者・漁業協同組合などから、港口・港内静穏度の確保や利用しやすい係留施設などと共に漁場の保全についての意見・要望が出されている。 当該漁港は、県管理漁港であり県が事業実施するのは妥当である。	点 1 4
緊 急 性	本漁港は、静穏度の確保に困難をきたしており、出港日数の低下や操業の早期切り上げなど、漁業活動に支障をきたしている状況にある。 総合計画における施策「資源を守り生かす漁業の推進」を支援する事業に位置付けられている。	点 1 2
有 効 性	防波堤マウンドにはイワガキなどが生息することが確認されており、防波堤整備により増殖効果が期待できる。 整備の実現により、作業の効率化とともに、高齢者でも安心して就労できる環境が確保され、後継者の確保（過疎化への歯止め）が期待できる。	点 2 5
効 率 性	事業費用便益比は1.1以上であり効率性は高い。 ・総費用の現在の価値 4.7億円 ・総便益の現在の価値 5.4億円 堤体（ケ-ソン）の中詰めに現地海底から採取した砂を流用し、コスト縮減を図っている。	点 2 0
熟 度	事業の進捗は順調に推移している。 防波堤基礎マウンドを海藻の着生を促進する構造としており、藻場の維持・増大を図っている。 沖防波堤背後の静穏域を、イワガキ増殖場として利用することについて地元漁協は大いに期待している。	点 1 5
判 定	ランク（ ○ ） 県管理港であり、「資源を守り生かす漁業の推進」のため、事業効果が有効に発現できるものであり、引き続き実施すべきである。	点 8 6
総合評価	継続      改善して継続      見直し      中止      終了 事業の継続は妥当である。	

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

当該事業の施工に当たっては、整備計画を踏まえ、着実に推進するとともにコスト縮減に留意する。

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価および対応方針を可とする。

適用事業名 **漁港漁場整備事業(漁港整備)**

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	事業の必要性					
	県民のニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い	5	3		
		一般県民を対象とした調査でニーズを把握	3			
		一般県民を対象とした調査を行っていない	1			
	社会経済状況変化による需要変化	増大している	5	3		
		特に変化ない	3			
		低下している	1			
	事業の進捗状況					
	事業実施の進捗度合	計画より進歩している(100%超)	5	3		
		概ね計画通りの進歩(90~100%以下)	3			
計画より遅れている(90%未満)		1				
今後の進歩見込み	課題は解決済みで順調な進歩が見込まれる	5	5			
	将来的な課題はあるが当面進歩に影響がない	3				
	課題解決の見込みが無く事業が停滞する	1				
計			20	14		
緊急性	漁業活動における支障					
	現況の港内静穏度	所用安全波高の2倍以上で事故の危険がある	5	3		
		所用安全波高より高く出漁・係船に支障がある	3			
		所用安全波高を満たしている	1			
	現況の漁港施設状況	老朽化又は機能不全のため施設利用ができない	5	3		
		老朽化又は機能不全のため利用上支障がある	3			
		特に施設利用上の支障はない	1			
	事業未実施の影響	事業効果や効率性、周辺への影響等が大きい	5	5		
他事業との関連	事業効果や効率性、周辺への影響等は小さい	1	1			
	関連する他事業との調整で緊急性が高い	5	1			
計			20	12		
有効性	今後の具体的有効性見込み					
	水産物属地陸揚げ量の増加	陸揚げ量の増加が推計される	5	5		
		陸揚げ量は増加しないと推計される	0			
	漁業の生産性	生産コストが縮減する	5	5		
		生産コストは縮減しない	0			
	漁業活動の安全性	漁業活動の安全性が高まる	3	3		
		漁業活動の安全性は高まらない	0			
	漁業就業環境	就業環境が良化する	2	2		
		就業環境は良化しない	0			
	上位計画への貢献度					
あきた21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い	5	5			
	施策目標に間接的に貢献する	3				
	施策目標とは別のその他関連事業である	1				
市町村合併関連	市町村合併の推進に貢献する	5	5			
	市町村合併の推進には特に影響しない	0				
計			25	25		
効率性	事業の投資効果					
	費用対効果	B/C = 1.1以上	5	5		
		B/C = 1.1未満	3			
	事業実施コストの縮減					
	コスト縮減計画の実施状況	実施している、又は今後実施する予定	5	5		
		実施していない	0			
	当初計画との比較					
	当初計画事業費からの増減	当初計画事業費以内	5	5		
		10%以内の増加	3			
		10%以上の増加	1			
今後の具体的効率性見込み						
出漁日数の増加	出漁日数の増加が推計される	3	3			
	出漁日数は増加しないと推計される	0				
作業時間の短縮	漁業作業時間が短縮する	2	2			
	漁業作業時間は短縮しない	0				
計			20	20		
熟度	事業の推進					
	事業の推進体制	協議回答の推進体制が設立済み	5	5		
		推進体制の設立準備中	3			
		推進体制設立の予定なし	1			
	将来の維持管理					
	維持管理体制	管理者・受託者が確定済み	5	5	県管理漁港である。	
		協議中であるが合意見込み	3			
		未定である	1			
環境との調和への配慮状況						
環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5			
	配慮について検討している	3				
	特に配慮はない	0				
計			15	15		
合計			100	86		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上	86	
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		